



# 希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町 7-16

tel:049-226-2491 fax:049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA, 7-16 Sugawara-cho, Kawagoe, Saitama 350-0046 Japan

## 川越ワイズメンズクラブ会報

No. 26-07

1月号

発行2023年1月22日

Chartered 1998

会長 山本 剛史郎

クラブ会長主題「温故知人」スローガン「明日に向かって新しい出会いを！」

副会長 松川 厚子

国際会長 Ulrik Lauridsen 氏(デンマーク)

会計 吉田 公代

主題“Let Your Light Shine“

書記 吉野 勝三郎

(輝かそう、あなたの光を)

アジア太平洋地域会長 利根川 恵子(川越)

主題“Be the light for change”

(変革のために光となろう)

東日本区理事 山田 公平(宇都宮)

主題「未来のために今、学びと気づきを！ 未来のために、自信を育み、真の喜びに出会おう！」

関東東部部長 長尾 昌男(千葉ウエスト)

主題「YMCAとY's協働で、目指そう地域に繋がる奉仕を！」

1月の聖句

今月の聖句

日々のパンの代わりに嘆きが来る。

水のように呻きはほとばしる。

恐れていたことが私に起こった。

恐怖が私を捕らえた。

私は安らかではなく、憩うことはない。

私に休息はなく、心は乱されている。

ヨブ記3章24~26節

For my sighing comes before I eat. My groanings  
are poured out like water.

For the thing which I fear comes on me, that  
which I am afraid of comes to me.

I am not at ease, neither am I quiet, neither have  
I rest; but trouble comes."

Job 3:24-26

### 巻頭言

川越ワイズメンズクラブ会長 山本剛史郎

「平和を造る人々」

2024年は能登半島地震という災害から始まる年となってしまった。ロシア・ウクライナの戦争、イスラエル・パレスチナの戦争問題も解決の糸口が見えず、世界で紛争、災害といったものが続いている。そのような中で一つの詩が私の中に思いうかんできた。それはロバート・ブラウニング作「エピローグ」(『アソランド』より)という詩である。長いのでその一節だけを紹介する。

決して敵に背を向けず、胸を張って前進した者、

暗雲が晴れるのを決して疑わず、

たとえ正義が敗れるとも、悪が勝利を収めるなどと  
夢想だにしない者、

倒れるは立ち上がるため、挫折するはよりよく戦う  
ため、

眠るは目覚めるためと確信した者。(それが私だ)

たとえこの世界が不条理に満ち、希望が見いだせないような状況であろうとも、「暗雲が晴れるのを決して疑わず、たとえ正義が敗れるとも、悪が勝利を収めるなどと夢想だにしない者」として生きていきたいと思う。

### 今後の川越クラブの予定

川越ワイズメンズクラブ 会長 山本 剛史郎

**日時:2024年1月27日(土)14:00~**

場所:埼玉 YMCA 川越センター、zoom

内容:パンガシナンクラブとのオンライン・ミーティング(埼玉・所沢・川越)

**日時:2024年2月24日(土)14:00~**

場所:ウエスタ川越会議室

卓話:加藤英毅氏 AstroScale 社長

“アストロスケールのビジネス⇒「宇宙の大掃除/  
宇宙での JAF になるぞ！！」”

埼玉3クラブ合同例会となります。

**日時:2024年3月30日(土)**

川越 YMCA のプログラムに参加している児童達とのバス

旅行です。経費の一部を私達のクラブが負担します。川越クラブのメンバーは大歓迎です。今から予定して下さい。詳細は後ほど。

## 在京ワイズ合同新年会報告

山本 剛史郎

2024年1月13日(土)、毎年恒例となっている在京ワイズ合同新年会が東京 YMCA 東陽町センターで行われました。東京都内にあるワイズメンズクラブのメンバーが約100名集まり、盛会となりました。川越クラブは正確には在京(東京)ではないが、毎年、参加しており、今年も利根川太郎、利根川恵子夫妻、山本剛史郎の3名が川越から参加しました。

全体が三部構成で、第一部が礼拝、第二部は新春コンサートとしてピアノ、サクソ、ソプラノ(声楽)が馴染みのある曲を様々披露するというものでした。そして第三部として交歓会として交流が持たれましたが、最初に鏡割りを行い、瀬祭(日本酒)で乾杯という形で交歓会が始まりました。とても美味しいお酒に洗練されたおつまみという、準備をくださった東京グリーンクラブの品の良さが現れる会となり大変に盛り上がりました。



集合写真。約100名が参加。



第二部の新春コンサート。(城田ワイズ撮影)

## 所沢ワイズメンズクラブ例会参加

山本剛史郎

利根川太郎、利根川恵子、生川美樹、吉田公代、山本剛史郎(川越クラブ5名)、衣笠輝夫(埼玉クラブ)の6名が、所沢クラブ1月例会に参加しました。会場は埼玉 YMCA 所沢センターで行われ、所沢クラブの坂本憲枝さんが「アジア・太平洋地区大会に参加して」という題で卓話をするとのことで、訪問・参加しました。利根川夫妻、衣笠さん、山本の4名は在京ワイズ合同新年会に参加しており、その後の訪問であったため大幅に遅刻してしまいましたが、所

沢クラブの皆さんが卓話を後回しにしてくださったので、卓話は聞くことができました。

卓話は昨年、所沢クラブに入会したばかりの坂本さんがアジア・太平洋地域大会(香港)に参加して、写真と共にその内容、感想を述べてくれました。今回、ゲストとして参加した6名は全員アジア・太平洋地域大会に参加し、香港に行ってきたので、それぞれその思い出や感想を述べました。そのアジア・太平洋地域大会では、所沢・川越クラブはフィリピン・パンガシナンクラブとIBCを締結しましたので、1月27日(土)にはzoomでパンガシナンクラブとの交流会も行う予定、そのことも話をしました。これからもお互いのクラブ訪問が気軽にできると良いと思います。

## 川越クラブメンバーの新年の抱負

生川美樹

人生にやり残しがないように、健康に留意しつつ、楽しく日々を過ごしていきたいと思います。

河合 今日子

今の所、家庭では聞き方「あいうえお」が全くできていません。今年、仕事・プライベートの両方で聞き方名人になれるよう頑張ります。  
あ・・・相手を見て  
い・・・一生懸命  
う・・・うなずきながら  
え・・・笑顔で  
お・・・おわりまで

利根川恵子

アジア太平洋地域会長として、任期の後半をしっかりと務めたいと思います。個人的にはダイエットをして、健康に過せるように努めます。

利根川太郎

昨年はフルタイムの仕事をリタイアして1年目でした。今年、大学の講座は昨年同様前期半年ですが、新年から海外へ出かけることが多く慌ただしい前半となりそうです。

健康診断の結果、少しメンテナンスも必要なので、健康に留意して過ごしたいと思います。  
今年もよろしく願います。

松川厚子

皆様ご無沙汰しております。いつもお世話になっております。生花をやめずに3年後に理事の試験を受けることにして本部教室に週一通うことにしました。夜間なら仕事も続けられるし、階段も少ないし草月会館に通えると思います。足が痛いのに言われそうですが勧める人がいるので頑張ってみます。YMCAにはまた出席します。利根川さんの妹さん歓迎します。

山崎 純子

体力にあわせた行動。体重がほぼ戻りましたので3年前の行動に戻します。

1週間のスケジュールにあわせて献立をたて、健康維持を図る。

隔月を念頭に旅行を計画する。

## 山本剛史郎

### ・個人的なこと

何よりも健康第一。2023 年は体調不良(コロナ、带状疱疹、腕の痛み)の時が多く、今年は健康に気を付けていきたい。

### ・仕事のこと

簿記2級を取得して、会計業務を覚える。

### ・ワイズ

関東東部部長として関東東部大会を成功させる。ワイズ活性化に繋ぐきっかけを作る。

## 吉田公代

健康第一で、心身ともに美しいシルバ(バ)ーさんを目指し、少しでもお役に立てるようと思っています。

また、仲良く楽しく、ワイズを盛り上げたいと思っています。よろしく願いいたします。

## 吉野 勝三郎

私は、1月1日午後4:10は群馬で車を運転していました。5人全員の携帯電話がけたたましく鳴り、何かとビックリしました。埼玉 YMCA で丸沼スキー場に行かれた方は、ご存知でしょうが、私が向かっていたのは、露天風呂もある「白根温泉」でした。

2日の羽田空港での事故は、やはり帰宅途中の車中で知りました。

8日は、兄嫁の法要があり、帰省しました。帰路、やはり車中から、在宅闘病中の姪(兄の長女)を見舞おうかと思って電話したところ、彼女の娘が、今日は母の体調が悪いので、後にして欲しいと言われ諦めました。ところが、彼女は翌日の午後病状が急に悪化し亡くなり、13日が通夜・14日が告別式でした。そのため、申し込んであった在京ワイズの新年会は急遽欠席させてもらいました。

このように、ひどい年明けとなりましたが、間もなく79歳になる者として、健康で、充実した一年を過ごしたいと願わずにはいられません。

そんな中で、贈呈された「小さな読書会、50年の歩み」という刊行物を読み、大変心温かくなりました。この読書会は、甲府YMCAの長年のメンバーの岩間孝吉さんが50年間関り、Y'sで活躍されている仙洞田安宏さんは永年の会員で、この本の装幀を担当されました。50年間で230冊の本を読み、メンバー同士で読後感を話し合うという会ですが、会則もなく、会費もなく、緩やかな集まりが長続きた秘訣だろうと記されていました。何と心豊かな50年を過ごされたのだろうかと思い、羨ましさを感じました。

所属する教会は60周年、川越ワイズは25周年です。25年前に川越クラブ発足初期にワープロを駆使しながら「希望の鐘」発行に苦戦したのを昨日のように思い出します。幸い、両膝に移植した人工関節は調子良く、16,000歩を数える日もありました。毎朝の大根おろしとツムラの漢方「大建中湯」で腸閉塞の再発はありません。

生涯現役を標榜する者として、今年もあたふた、うろちょろ、します。

## 国際の舞台から

### “Keiko's Monthly Briefing of YMI/ASP”

国際議員・アジア太平洋地域会長 利根川恵子

「新年早々、台湾ワイズの爆発的エネルギーを体験」

新年おめでとうございます。みなさまにとって幸多き年となりますようお祈りいたします。

さて、私たち夫婦は、1月6日に台湾区が開催した「2024ワイズメンズクラブ杯卓蘭フルーツの郷全国マラソン大会」に、ランナーとしてではなく、応援団として参加いたしました。東日本区からはわれわれ2名でしたが、西日本区からは、大野勉・元アジア太平洋地域会長、前田香代子・直前アジア太平洋地域書記、田上正・直前理事ご夫妻と4名が参加しました。

卓蘭(Johlan)という地区は、台中の西に位置し、台北から車で2時間のところにある、果物の生産地として有名なところ。現台湾区理事の游道生(YU, Tao-Sheng)さんが、この地域にオートキャンプリゾート(キャンピングカーに寝泊まりするリゾート)を3つも経営する実業家で、彼の地元とのつながりとワイズメンズクラブ総動員で、このマラソン大会が実現したようです。游理事経営のオートキャンプのサイトです。よろしければ覗いてみてください。キャンプカーでも快適でした。

<https://www.sniffhotels.com/tw/eu/hotel/le-alley-autocamp>

準備期間が6ヶ月とは思えないほどの参加者数と運営体制でした。ランナー2,600人、うちフルマラソン(42km)部門のエントリーは900人だそうです。游理事の車で42kmのコースを応援しながら走りましたが、3~5kmごとに設置された給水・おやつスタンドでは、ワイズメンズクラブのメンバーが、飲み物はもちろん、ブドウ、ミカン、スターフルーツ、バナナなどの果物や台湾の伝統的な食べ物を用意して迎えていました。フルーツはかぶりますが、お料理(あるいはスナック)は一つとして同じものが出ていないのには驚きました。

また、スタンドでは、生音楽の演奏や太鼓の応援、小学生の絵や陶芸の作品展示など、さまざまな工夫があり、ファン・ランの要素も多々見られました。

私たちは車で42kmを制覇したのでなんとありませんでしたが、コースは山岳コースで急な上りと、下りを繰り返す、ベテランのランナーもこれほどきついとは思わなかったと弱音を吐くような、とんでもなく難しいコースでした。特にけがや体調を崩して救護されたランナーを見かけなかったのは、奇跡のようです。大野元会長と田上直前理事は10km部門を力走し、完走でした。普段の訓練の賜物ですね。

初めての、このような大規模なイベントを6ヶ月で計画、準備、実施するには、よほどのリーダーシップと熱意が必要で、台湾区500余名のワイズメンバーの爆発的なエネルギーを体感できた、新年早々、とてもうれしいできごとでした。

さらに、その夜には、ワイズメンバーのお嬢さんの結婚披露宴があり、われわれ6名は、チャーミング・次期国際会長ともどもご招待に預かり、滅多に経験できない、台湾式の披露宴にも参加することができました。こちらの報告はまた別の機会にさせていただきます。



スタート!(台の上のピンクのTシャツが私で、市議会議員さんと一緒にホーンを鳴らしてスタートの合図と応援をしました。)

# 能登半島地震 YMCA 緊急支援募金 2024

今回の地震・津波により被災された全ての方々に心よりお見舞い申し上げます。  
2024年1月1日午後16時10分ごろ、石川県能登半島を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生しました。  
この地震により、特に石川県能登半島を中心として甚大な被害が発生しています。

「石川県情報共有会議（主催：全国災害ボランティア支援団体ネットワーク/JVOAD）」では、多くの方が避難生活を強いられ、そこに十分な支援が届いていない状況が報告されました。また地震から数日が経過した現在も、被害状況の全ては明らかになっていないことから、今後、長期的な支援が必要となることは確実と思われます。

こうした現状を踏まえてYMCAは、これまで取り組んできた災害支援活動の経験やノウハウをもとに避難所運営サポート、災害ボランティア運営サポート、被災者のリフレッシュなど、被災された方や支援者の心身の安全を最優先にした支援活動を展開していく予定で準備をしています。

その具体的な内容は、被災地の近隣にあるYMCAおよびキリスト教会や関連団体、その他の支援団体などの協働の可能性を含め、早急に計画をまとめる予定ですが、その活動を直ちに開始できるよう、まずは緊急支援募金へのご協力をお願いいたします。

## 能登半島地震 YMCA 緊急支援募金 2024

第1次募金期間 2024年3月31日まで

### ◆募金使途：

- ・被災地近隣YMCAと協働して行う、能登半島地震の被害を受けた地域への支援活動
- ・YMCAが関係する災害支援団体との協働で行う支援活動

\*詳細は随時、下記のホームページでお知らせします。

[https://www.ymcajapan.org/noto\\_sien/](https://www.ymcajapan.org/noto_sien/)

### ◆募金方法：埼玉YMCAの各センター窓口へ直接お持ちいただくか、以下にお振込みください。

①銀行振込 埼玉りそな銀行 新所沢支店 1055522

②郵便振替 郵便振替口座 00120-5-118690

・上記共に名義は 公益財団法人埼玉YMCA になります。

・「2024 能登半島」をご記載ください。

◆日本国内のYMCAをつなぐ「日本YMCA同盟」のサイトからはクレジットカードでの送金もできます。

右のQRコードからWebサイトにお入りください。



街中にランナーが溢れて。。。。



ゴール間近の台中エバーライフ・クラブのスタンド。どのスタンドのワイズもみな明るく元気でした。

## YMCA 報告

### <YMCA 報告>

昨年は、5月から新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、皆様のご協力のもとでかなりの事業が再開することができました。心より感謝いたします。

さて、今年こそ！と希望に満ちるはずだった新年が、能登半島地震、航空機事故など悲しい知らせと共に、いまだその悲しみと苦しみの中にいらっしゃる方々を思うと胸が痛みます。埼玉YMCAでは、能登半島地震を受け募金活動を始めました。今後、富山YMCAを中心に全国のYMCAが協力、支援活動を行う予定です。引き続き皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

### 【能登半島地震 YMCA 緊急支援募金 2024】

◆第1次募金期間：2024年3月31日まで

### ◆募金使途：

- ・被災地近隣YMCAと協働して行う、能登半島地震の被害を受けた地域への支援活動。
- ・YMCAが関係する災害支援団体との協働で行う支援活動

\*詳細は随時、日本YMCA同盟のウェブサイトでお知らせします。

[https://www.ymcajapan.org/noto\\_sien/](https://www.ymcajapan.org/noto_sien/)

## <スキーキャンプ報告>

2024年1月5日(土)～7日(月)に新潟県南魚沼市にてCCPの助成金を受け、「BigSmile スキーキャンプ」を実施しました。浦和・川越の放課後等デイサービスとアップ(卒業生グループ)に在籍している小学生から成人までの12名が参加しました。

「BigSmile スキーキャンプ」は、3日間のスキーと2日目の夜にはタレントショーを行いました。

初めてのスキーの為「ちょっとこわい…」というメンバーもいれば、久しぶりのスキーにわくわくしているメンバーもいました。暖冬の為、ゲレンデは雪不足で地面が見えている所もあり、滑りにくさを感じることもありましたが、子どもたちがその環境に順応していく姿がとても印象的でした。

タレントショーは、それぞれ得意なことや歌の発表をします。お互いを認め合う場面となりました。

YMCAのスキーキャンプは、スキー教室の先生にお願いするのではなく、YMCAのボランティアリーダーがスキーのトレーニングを積み、子どもたちと共にスキーをするという特色があります。これは、その子の生活の様子や特徴を知っているリーダーが、一人ひとりに合わせて関わることができるからです。指導者でも先生でもない、リーダーの関わりが子どもたちに良い影響を与えてくれます。

最後に、この働きを支援してくださるワイズメンズクラブの皆さま、関係機関の皆さまに深くお礼申し上げます。今度ともよろしくお願いいたします。(長谷川・木下)





(編集後記)

個人的な事情から、今号の発行が遅くなりましたことをお詫びいたします。

私を含めて、皆さんの年頭の抱負がほとんど、「健康」でしたので、2024 の語呂合わせを“不老不死”と考えました。

今年もブリテンの発行を担当しますので、ご協力下さい。(KY)

### 【旅するシンプル英会話に参加しませんか？】

川越センターでは、月2回の成人英会話クラス「旅するシンプル英会話」を開講することとなりました。このクラスは、リチャード先生の母国イギリスの文化に触れながら、楽しく英語を学ぶクラスです。英語に自信がない方も、ゆっくり時間をかけて学びますのでご安心ください。皆様のご参加お待ちしております。

埼玉YMCA



埼玉 YMCA 創立50周年記念プログラム 第2弾

成人英会話

## 旅するシンプル英会話



世界を旅する気分を味わいながら専任講師の母国イギリスの文化に触れ、英会話を学ぶクラス内容です。  
久しぶりに海外旅行に行きたい！英語ボランティアガイドをしたい！  
そんなあなたの背中を押し、一歩を踏み出すお手伝いができれば幸いです。

お申込みはこちらから↓



初 回：初級レベル 2024年1月31日(水)  
中級レベル 2024年1月25日(木)

日 時：月2回程度 木曜日12:30~13:30(60分)

※2月以降のクラス日は受講生の方々の都合を考慮してクラス日を決定いたします。

対 象：成人の方 初級・中級レベル

定 員：6名(最少催行人数3名)

費 用：1回 2,000円(税込)

担 当：YMCA専任講師(ネイティブ)

幼児から大人までの生涯教育の場として、YMCAは生かされていきたいと願っております。

### <YMCA 海外交流ダイナミックサマー2024 募集>

サマーキャンプ in オレゴン Camp Collins 概要:

日程:2024年7月27日(土)~8月11日(日)16日間

対象:小学3年~高校生(17歳以下)

プログラム研修参加費(YMCA手配):650,000円

旅行代金(JTB企画実施):250,000円

その他:燃油サーチャージ

内容:YMCA キャンプおよびホームステイ(予定)

募集人員:15名